

災害に

対応する

対応①

身を守る

地震が発生したときは、慌てず冷静に対応することが、自分の「命」を守ることにつながります。

地震が発生したときに最優先に行うことは、「頭」を守ることです。ヘルメットや防災ずきんを着用し、身の安全を確保しましょう。

地震発生時の5つの約束

1. グラッときたら身の安全
2. 落ち着いて火の始末をする
3. 慌てて外に飛び出さない
4. 戸を開けて出口を確保する
5. 正しい情報で行動する

自分や家族の安全が確保できたら、近隣の人の安否にも気を配りましょう。

災害発生直後は、救急車や消防車などは駆け付けることが困難な状況です。地域の皆さんが迅速で適切な救出救護活動を行うことで、被害を最小限にとどめることができます。防災訓練などに参加し、救出救護活動ができるようにしておきましょう。

また、車いすを利用している方や目・耳が不自由な方を救出・誘導する場合は、複数で対応するとともに、現在の被災状況を正確に伝えることが必要です。



対応②

救出救護活動をする

自分や家族の安全が確保できたら、近隣の人の安否にも気を配りましょう。

対応③

安全に避難する

地震が発生した後、自宅が倒壊する恐れがある、または炎が自宅に燃え移るなど、自分の身に危険が迫った場合は、速やかに一番近くの避難所や避難場所に移動してください。

市内では、小・中学校や各公民館などが避難所として指定されているほか、公園や駐車場が避難場所に指定されています。

また、家屋や塀が倒壊する恐れがあり、道路上に割れたガラス片などが散乱していることも考えられます。慌てず冷静に、安全な経路で避難してください。

避難前の5つの約束

1. 通電による火災を防止するため、ブレーカーは必ず落とす
2. 盗難を防ぐため、窓や玄関の鍵を掛ける
3. 荷物は最小限に抑える
4. 外出中の家族のためにメモを残す
5. ヘルメットなどで頭を保護する

避難時の4つの約束

1. 近隣に高齢者や乳幼児、身体の不自由な人がいないか確認する
2. 家族や近所の人たちと協力しながら、できるだけ集まって行動(避難)する
3. まずは、近くの公園や駐車場など広くて安全な場所に移動する
4. 余震に気を付け、倒壊や落下の恐れのない経路を選んで移動する



対応④

災害情報を入手する

東日本大震災を契機に、災害情報の発信手段の見直しや拡充が検討されており、本市においても、災害情報の発信手段の拡充に努めています。

しかしながら、発信手段が充実していても、有効活用されなければ、いざというときに役に立ちません。

災害情報を入手する方法は次の通りですので、ぜひご活用ください。

.....
防災行政無線

市内145カ所に子局を設置し、緊急放送や定時放送をしています。緊急放送の放送内容はフリーダイヤル(☎0120-360-1100)で確認することができます。



浮き城のまち

安心・安全情報メール

普段は主に防犯情報を、災害発生時には災害情報を発信しています。

メール配信を希望する場合は、事前に登録する必要があります。ご利用の携帯電話やスマートフォン、パソコンから gyoda.bouhan@mpme.jp までに空メールを送信してください。

なお、下記のQRコードからも登録できます。



緊急速報メール

災害が発生し、避難を必要とするときなど、市から市民の皆さんに緊急情報を伝える必要がある場合、利用している携帯電話やスマートフォン(au、docomo、softbankが対象)に、緊急速報メールを自動配信します。

機種によっては、対応できない場合もありますので、詳細は携帯電話各社に問い合わせください。

NTT災害用伝言ダイヤル

NTTが提供している災害用サービスで、大きな災害が発生したとき、自分の安否情報を登録できるサービスです。専用ダイヤル「171」で伝言を登録したり、聞いたりすることができます。

「伝言」の録音方法

171↓1↓連絡を取りたい方の電話番号↓伝言を吹き込む

「伝言」の再生方法

171↓2↓連絡を取りたい方の電話番号↓伝言を聞く

市ホームページ・市公式ツイッター

災害情報を市民の皆さんにお知らせするため、市ホームページや市公式ツイッターで随時情報を発信しています。

ツイッターは、東日本大震災の際、比較的安定して災害情報を発信することができたことから、市では、積極的にツイッターを活用していきます。



「災害に備える。」

東日本大震災を経験した私たちは、この言葉の重要性を十分認識しています。

本市では、大規模災害を想定した図上訓練や自主防災組織を対象にした防災訓練の実施、防災行政無線の改修や公共施設の耐震改修など、できる限りの備えをしています。

家庭や地域においても、防災について考えていただき、「命」を守る防災対策をすぐに始めてください。

市民の皆さん、共に災害に強いまちづくりを進めていきましょう。

▼問い合わせ 防災安全課
防災担当（内線282）